

5.9 家庭学習を見直そう

1. 題材設定の理由

高学年になり、家庭学習の時間や内容については、定着しつつある。来年は6年生として、小学校の学習の復習もしていかなければならない。また、中学校に向けても、学習の定着をしっかりと身につけたい時期でもある。

そこで、自分の生活を振り返ったり、友だちと家庭学習の時間や内容について交流したりすることを通して、これからの自分の家庭学習について見直すきっかけの場とするとともに目標をもち、家庭学習に取り組めるようにしたい。

2. 指導のねらい

家庭での生活を交流し、高学年にふさわしい家庭学習のあるべき姿を考えることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・生活の様子（ノート①）を書いておく。
本時	・自分の家庭学習を振り返り、高学年にふさわしい家庭学習を仲間と交流し、これからの家庭学習に取り入れていこうという目標をもつ。
事後	・ノート②③の各個人の努力目標をつかみ、前向きな姿勢を評価していく。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・毎日の生活の様子を振り返ることができる。	◎家庭での生活の様子について、気がついたことを発表する。 ・テレビの時間が多い。 ・ゲームの時間が多い。 ・寝るのが遅い。 ・学習の時間が少ない。 ◎自分の家庭学習について振り返り、交流する。	・家庭での生活の様子をもとに、客観的に見つけさせていく。 ・仲間の中でがんばっている子に気づかせる。	ノート①
課題：高学年として、ふさわしい家庭学習を考えよう。				
中心の活動	・自分を振り返るとともに、仲間との交流から、自分の家庭学習について、努力する方向がわかる。	◎中学生の作文を読んで感想を交流する。 ・中学校で（後で）やろうと思っているとできないから、今、しっかりやらなければいけないんだなあ。 ・テストなどやったら、やり直しをしておくといい。 ・漢字なども丁寧に書くようにしよう。 ・宿題だけでなく、復習も進んでやっていくといいなあ。 ・家庭学習の時間をもう少し、増やしたい。 ◎交流を通して、自分のこれからの家庭学習に取り入れていきたいことをノートに書く。	・自分の家庭学習について振り返る。 ・具体的な目標となるように配慮する。	ノート②
まとめ	・これからの家庭学習について、目標をもつ。	◎自分の日課表をつくる。 ◎先生の話聞く。	・睡眠時間や家庭での団らんの時間を削らずに、テレビやゲームの時間を減らして、家庭学習の時間がとれるようにしたい。 ・自分の決意を仲間と交流することで、実現に向けてより強い意志をもたせる。	ノート③